

お竹地蔵

〔お竹地蔵〕

昔、お竹という女の子いであって、ある大きな家さ奉公してあったど。それがいろいろ折檻されたりなんかして、それであの橋から身を投げて死んだという。時々幽霊みたいに出て、それを是山和尚が供養してやったら出なくなった。それで是山和尚があそこへ石の地蔵を建ててやったそうです。そごの橋も竹橋というようになったのです。